

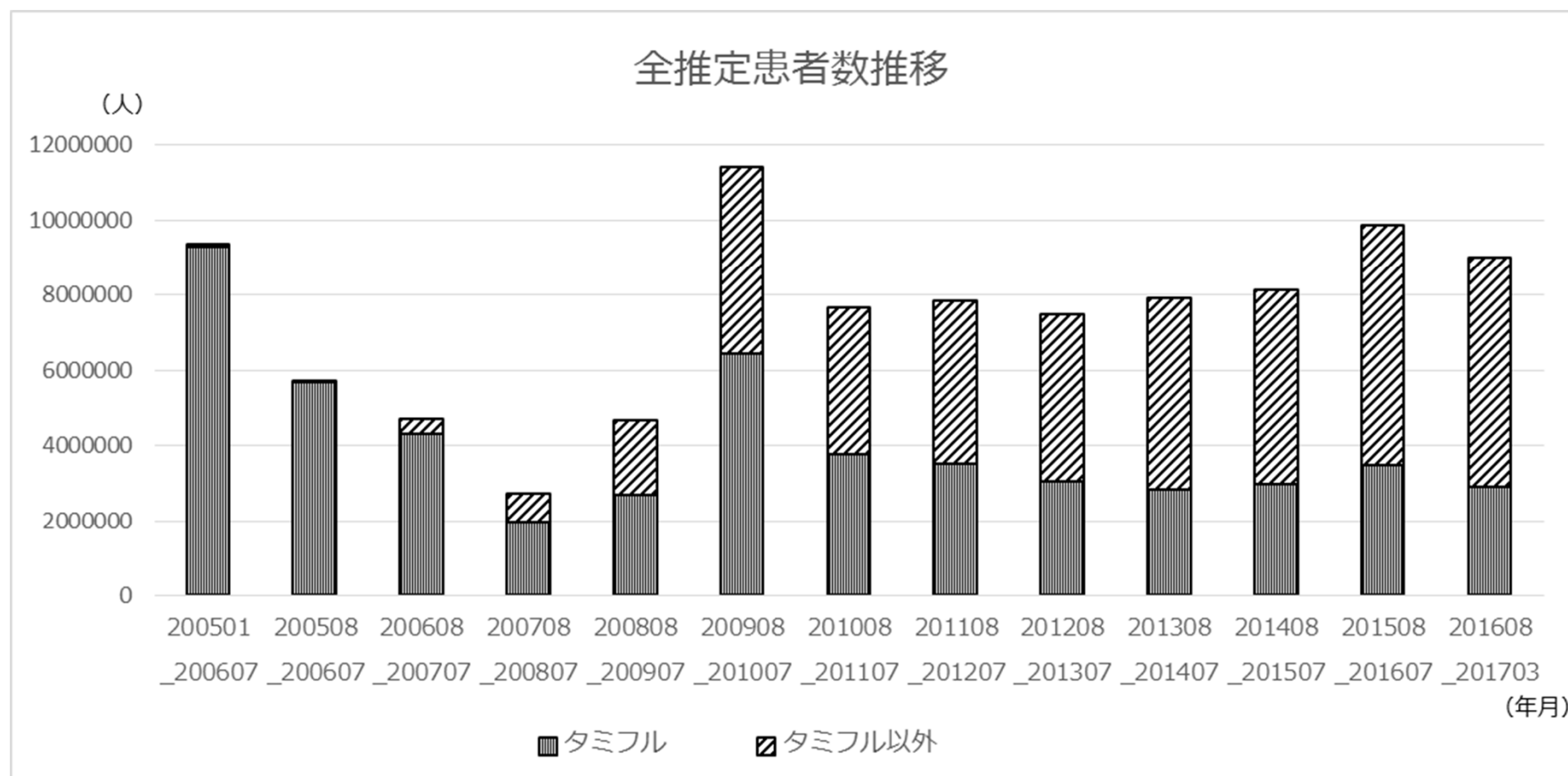
2016/2017シーズンの 抗インフルエンザ薬の処方患者の推計 (企業提出資料による)

	0～9歳の推定 処方患者数	10～19歳の推定 処方患者数	全推定 処方患者数	出典 (期間)
オセルタミビルリン酸 塩(タミフル)	約131万人 (約147万人)	約10万人 (約8.5万人)	約313万人 (約305万人)	(株)日本医療データセンター 201604～201703
ザナミビル水和物(リ レンザ)	約56万人 (約101万人)	約72万人 (約81万人)	約197万人 (約255万人)	JMIRI(株)医療情報総合研究 所), のデータよりGSKが算出 (2016 年10月～2017年4月)
ペラミビル水和物(ラ ピアクタ)	約2万人 (約3万人)	約3万人 (約4万人)	約27万人 (約29万人)	JammNet[ジャムネット(株)] のデータより, 塩野義製薬(株) が算出 (2016年10月～2017年4月)
ラニナミビルオクタン 酸エステル水和物 (イナビル)	約39万人 (約47万人)	約138万人 (約105万人)	約475万人 (約392万人)	JMDC((株)日本医療データセ ンター)のデータより (2016年10月～2017年3 月)

※括弧内は、2015/2016シーズンの推計

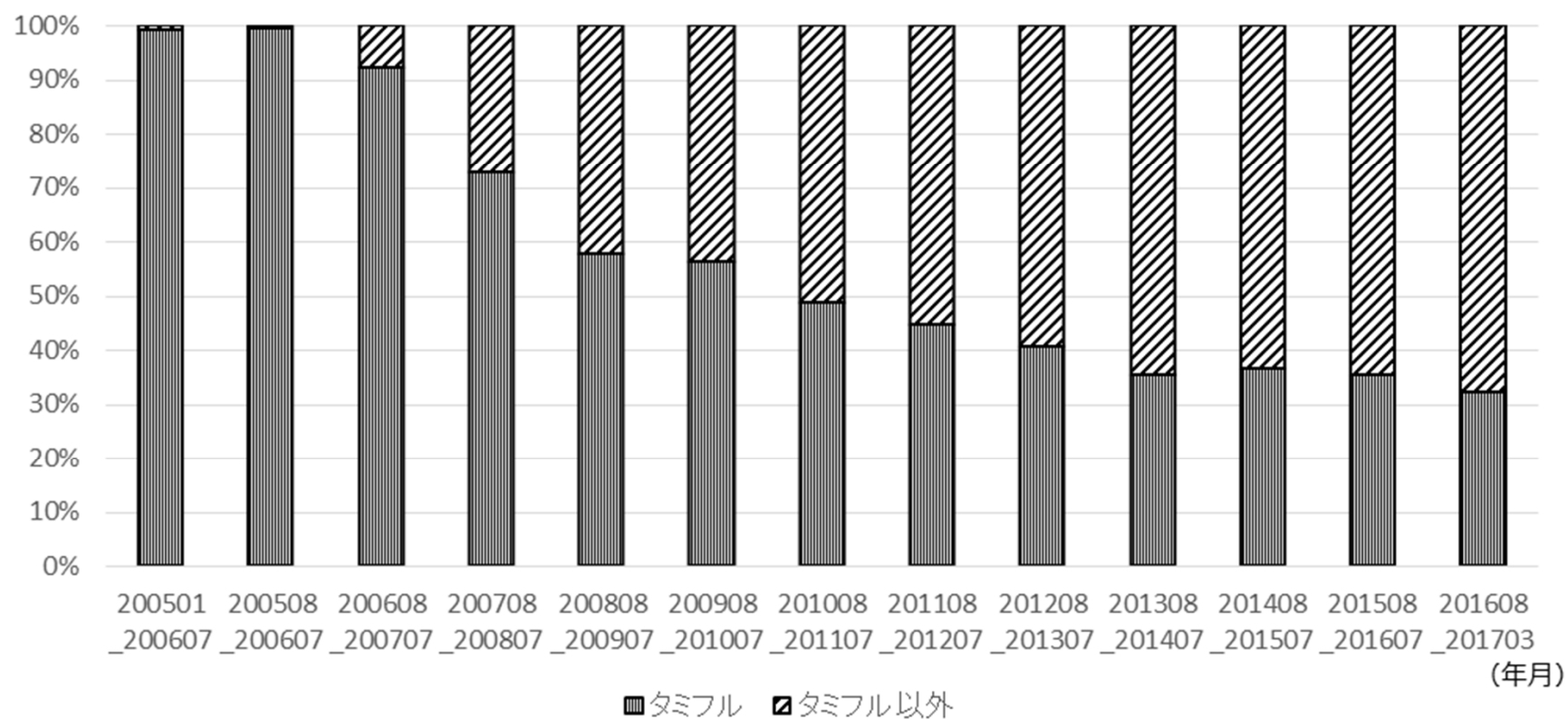
オセルタミビルリン酸塩 推定処方患者

企業： 中外製薬株式会社

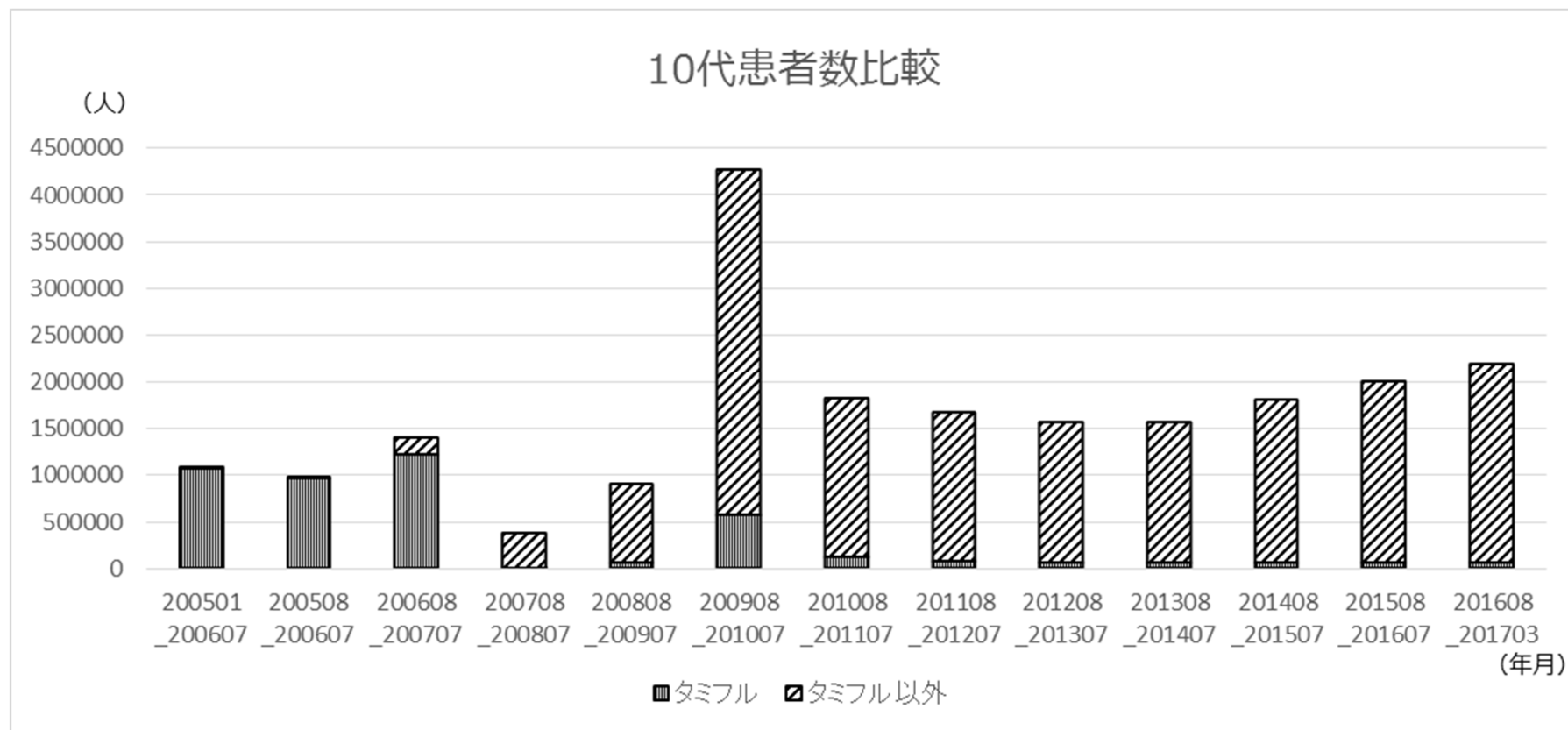


株式会社日本医療データセンターデータベースより算出

全推定患者数推移（割合）

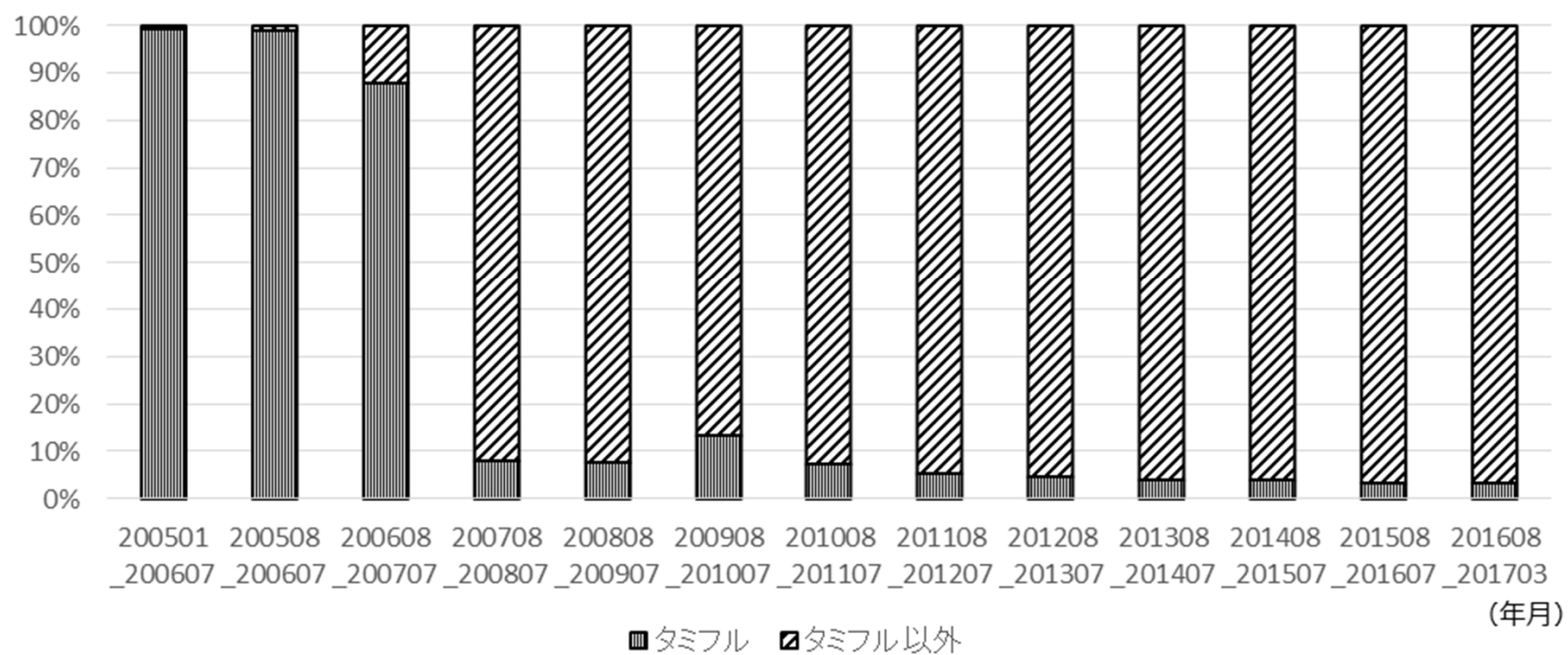


株式会社日本医療データセンターデータベースより算出

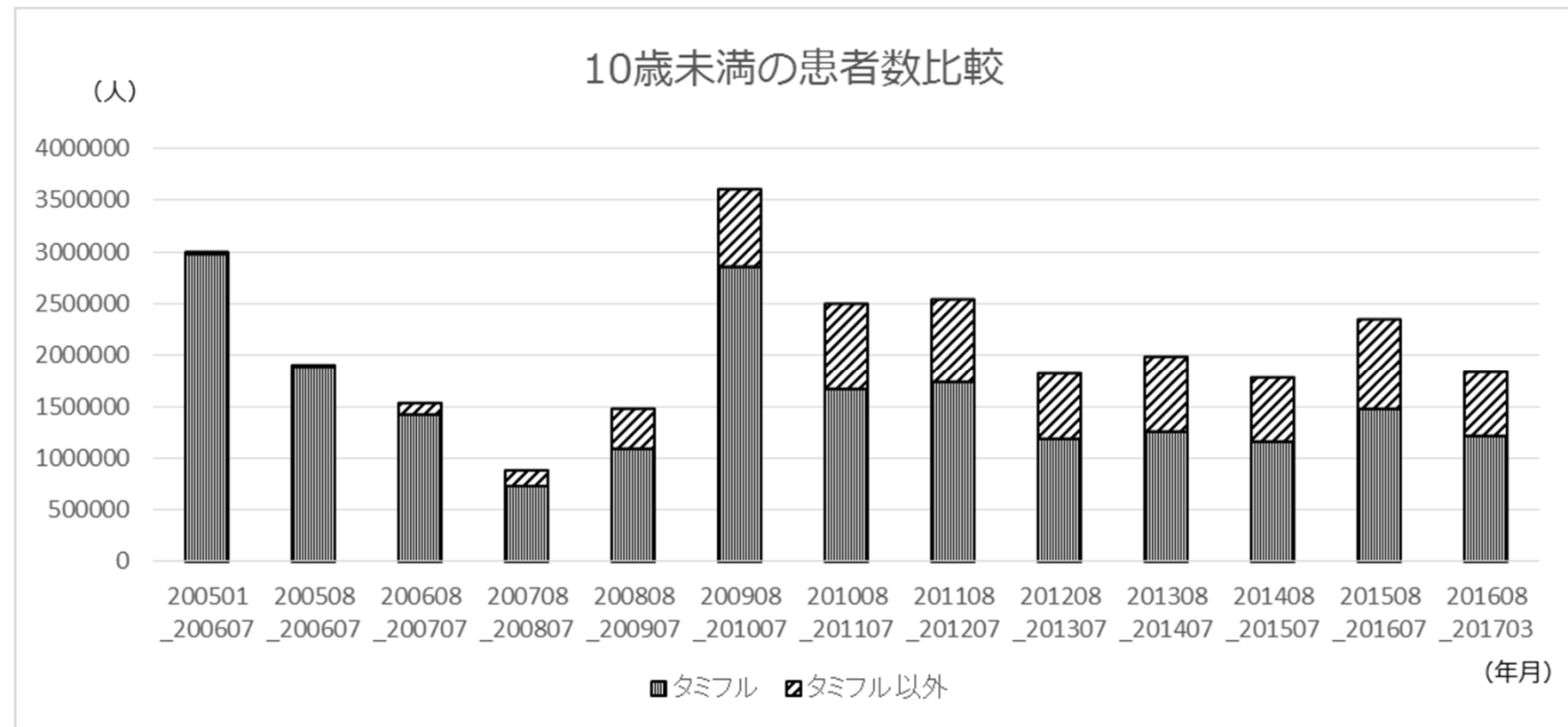


株式会社日本医療データセンターデータベースより算出

10代患者数比較（割合）

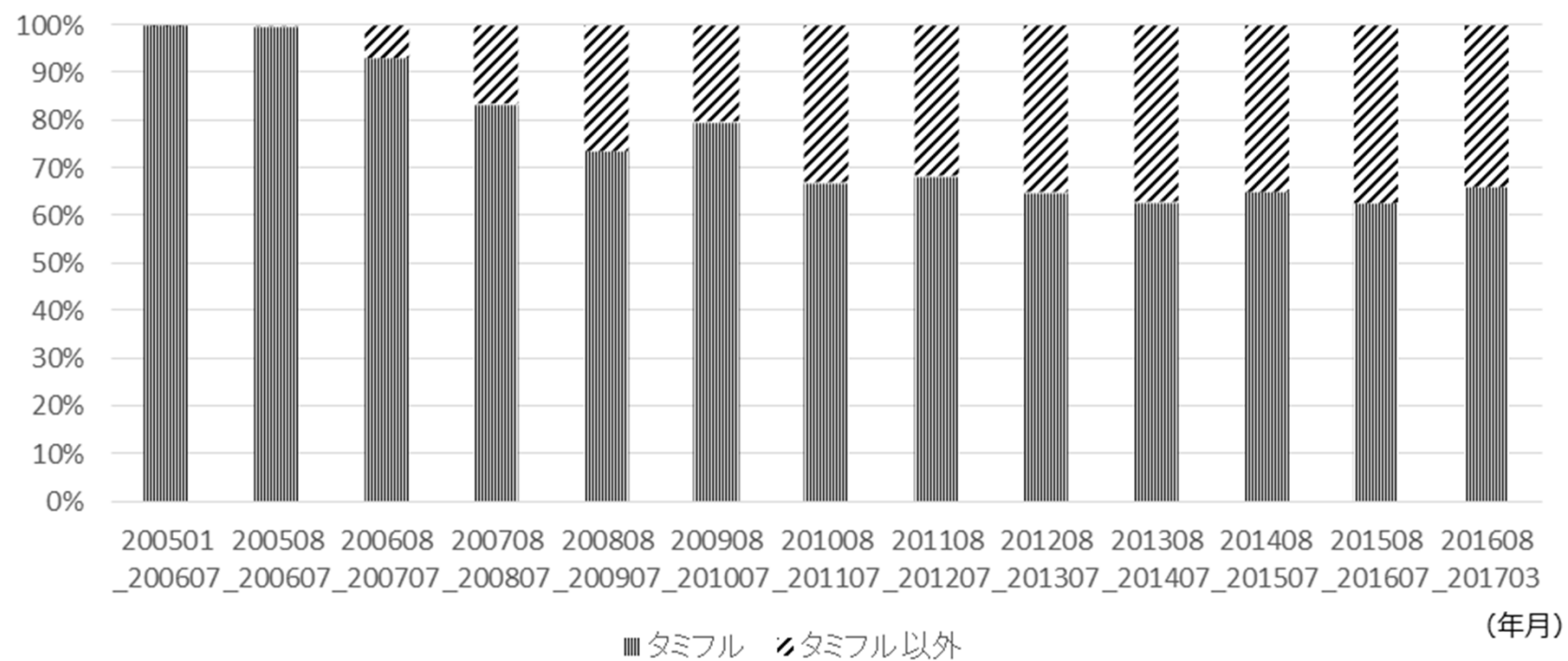


株式会社日本医療データセンターデータベースより算出



株式会社日本医療データセンターデータベースより算出

10歳未満の患者数比較（割合）

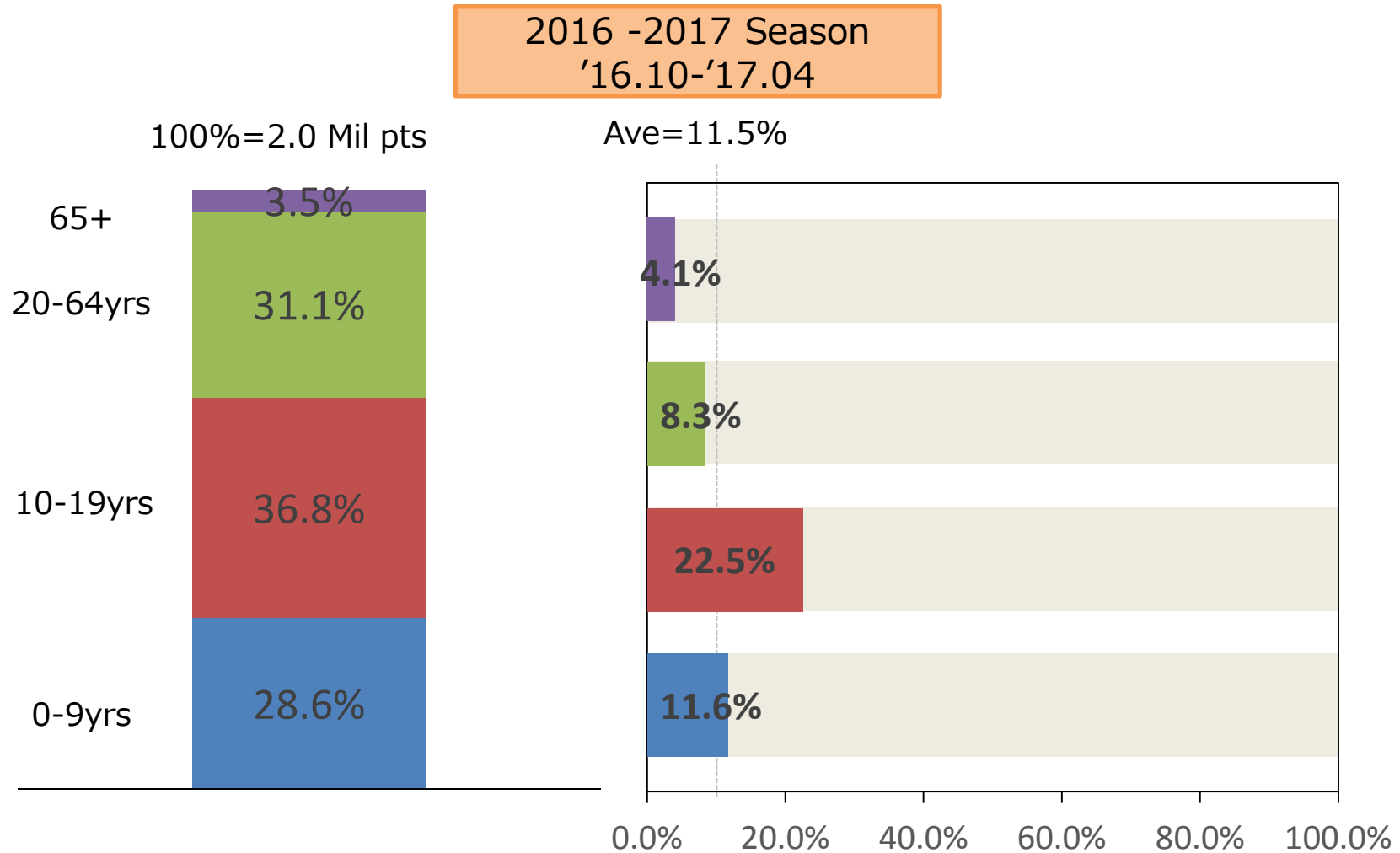


株式会社日本医療データセンターデータベースより算出

ザナミビル水和物 推定処方患者

企業： グラクソ・スミスクライン株式会社

患者年齢区分別エインフルエンザ薬の処方状況とリレンザのシェア(推定)



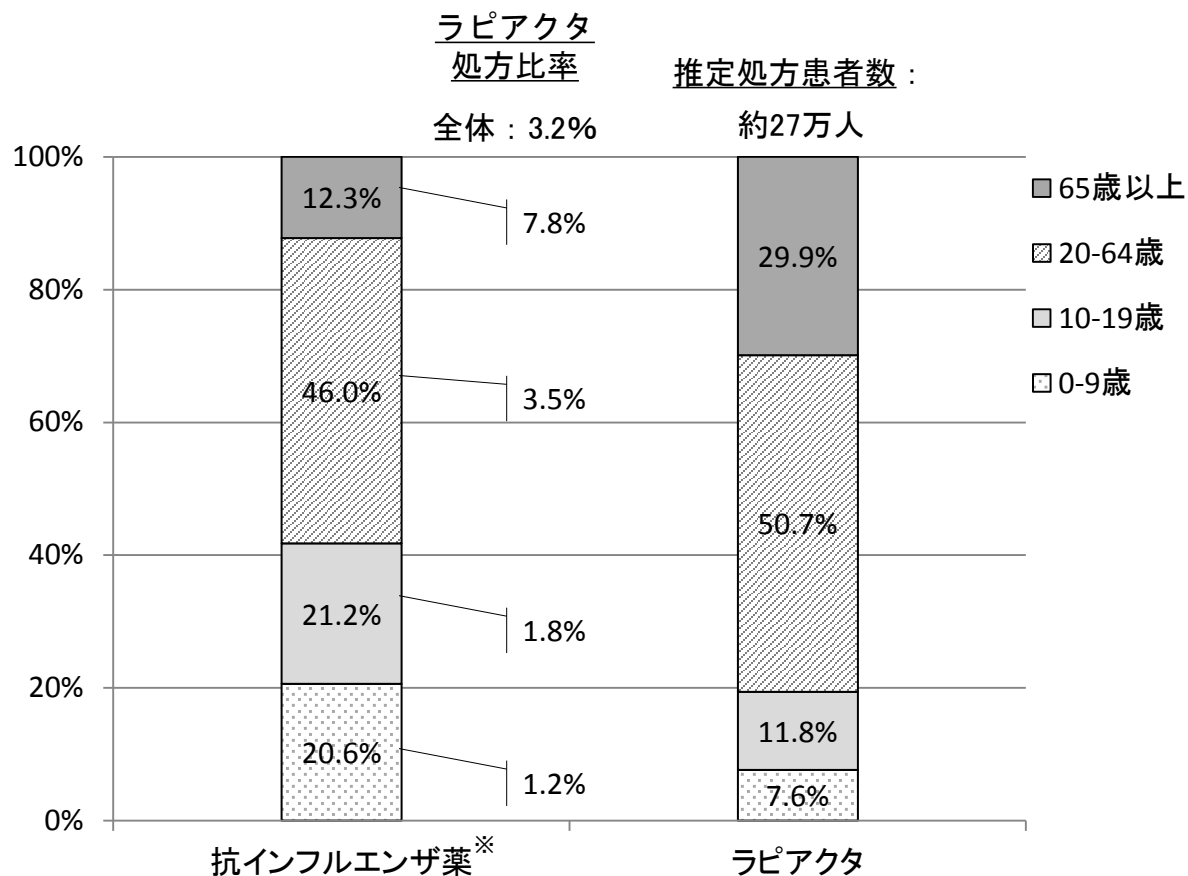
※「抗インフルエンザ薬」には、リレンザの他、タミフル(ドライシロップ、カプセル)、イナビルを含む
出典：JMIRI(株)医療情報総合研究所)のデータより、GSKが算出

ペラミビル水和物 推定処方患者

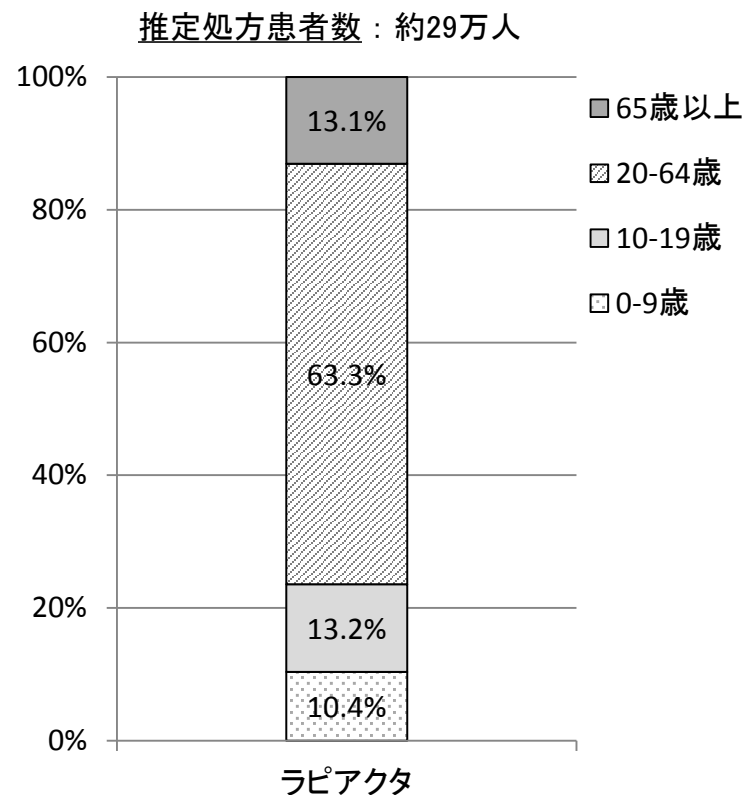
企業： 塩野義製薬株式会社

患者年齢区分別抗インフルエンザウイルス薬処方状況及びラピアクタシエア(推定)

<2016/17シーズン:2016年10月～2017年4月>



(参考) 昨シーズン (2015年10月～2016年4月)
ラピアクタ推定処方患者数・年代別比率



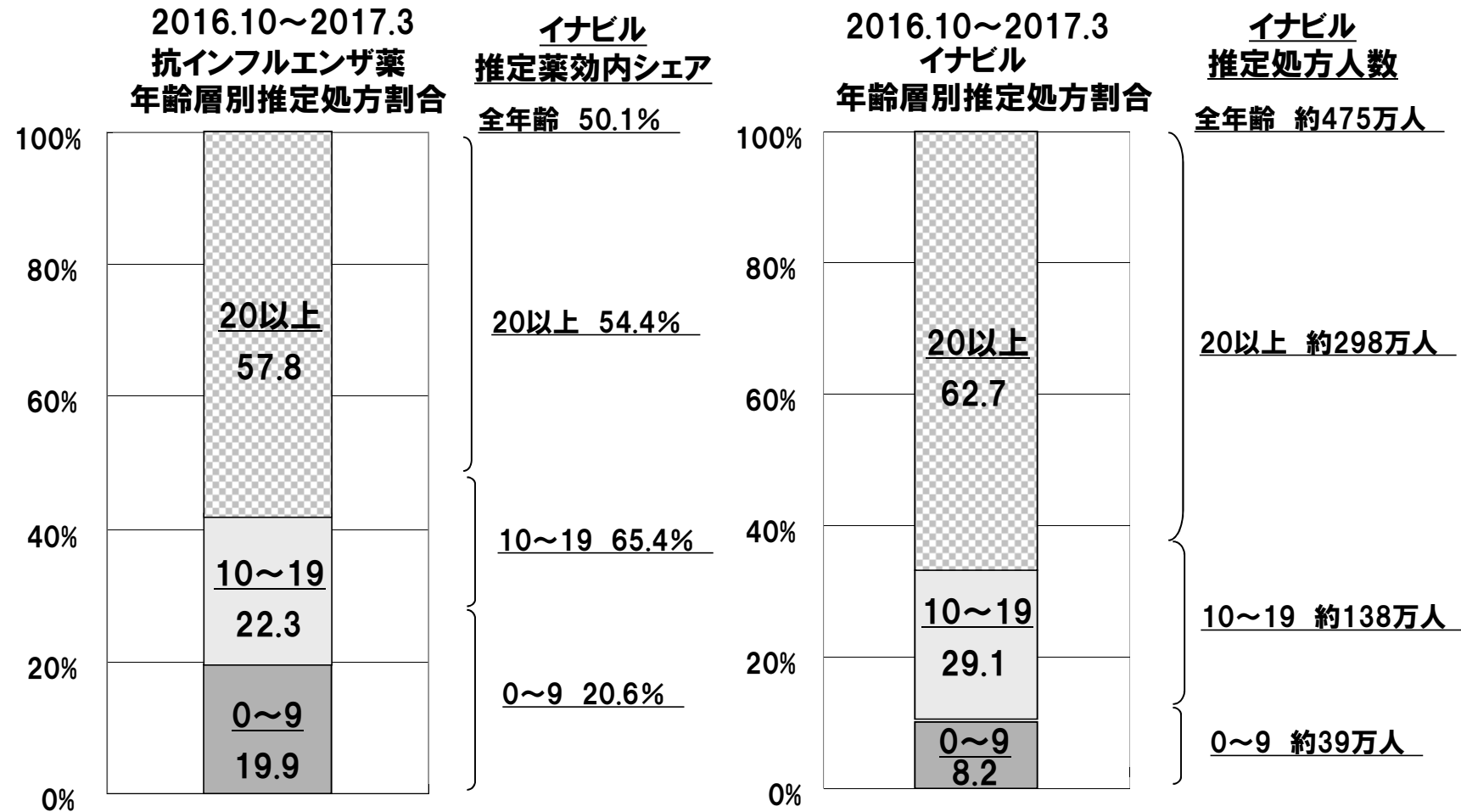
※ 抗インフルエンザ薬：タミフル，リレンザ，ラピアクタ，イナビル

出典：JammNet（ジャムネット株式会社）のデータより，塩野義製薬株式会社が算出

ラニナミビルオクタン酸エステル水和物 推定処方患者

企業： 第一三共株式会社

抗インフルエンザウイルス薬の使用状況とイナビルの推定シェア 【2016年10月～2017年3月の年齢層別】



出典：JMDC((株)日本医療データセンター)のデータより、第一三共が推定